

シンポジウム「途上国への省エネ政策支援～現場からの声～」

1. 開催日時 : 2010年3月5日（金） 13:00～17:35
2. 会 場 : 品川プリンスホテル メインタワー
(講演会) 19階「鎌倉」
(レセプション) 3階「もみじ・すみれ・しょうぶ」

○ シンポジウムの目的

2006年以降、経済産業省の委託事業として（財）日本エネルギー経済研究所は米国NPOのCLASP（Collaborative Labeling and Appliance Standards Program）と協力し、中国、ベトナム、インド、タイなど主にアジア諸国におけるエネルギー効率基準及びラベリング制度の構築を支援してきており、対象国やその活動内容も拡大してきている。本シンポジウムでは、本事業が、被支援国側からどのように受取られ、評価されているのか、また、今後は何を期待されているのかを各国の関係者等より発表してもらい、今後ますます重要性を増すと考えられる日本の省エネルギー支援のあり方について、会場の参加者とともに考える場を設けることを目的とする。

具体的には、本事業で活動を展開している中国、ベトナム、タイの3カ国、及びインドネシアから、本事業のカウンターパートを招聘し、本事業で実施している事業内容が、その国の省エネ制度構築のプロセスとどのように関連し、どのような効果が期待されるのかを説明してもらうとともに、パネルディスカッションを通じて今後本事業に期待するものや、改善点、望まれる方向性について議論を行う。あわせて、本事業の活動内容や関係国からの評価を国内関係者に周知することで、本事業の認知を高めると共に、省エネルギー支援のあり方について課題等の共有化を行う。

また、シンポジウム終了後には、発表者と来場者の交流会も併せて開催する。